



## スポーツの力で地域と日台交流へ貢献

プロジェクトワン  
PROJECT ONE の町長表敬訪問・小学生との交流活動

7月19日、PROJECT ONE が来町し、町長表敬訪問と津森小・広安小の放課後児童クラブで小学生との交流を行いました。

PROJECT ONE とは、サッカー台湾リーグで活躍している一柳夢吾選手、若林美里選手を中心に、社会貢献活動と日本・台湾交流強化を目的としたプロジェクトチームです。これまでの本町での取り組みとして、はなえみ食堂(子ども食堂・馬水)への食材の提供を行っています。

今回の訪問は、大学生が中心の地域活動団体+ S と協同し、津森小体育館ではサッカー交流。子どもたちは夢中になってボールを追いかけていました。

広安小では一柳選手への質問タイムがあり、小学生からの「どうやったらサッカーが上手になりますか」という質問に対し、「努力するんじゃなくて、楽しみながら、毎日の歯磨きと同じくらい当たり前の気持ちで日々サッカーをプレーすること」とアドバイスしました。

チームは今後も、スポーツ交流や、本町と台湾の国際交流への協力など、さまざまな活動を続けていきます。

写真説明/①(左から)PROJECT ONE 事務局の田口優樹さん、一柳選手、+ S 代表の松山拓実さん(広崎4町内) ②汗だくになってミニゲームを楽しむ ③一柳選手のサイン入りボール贈呈 ④サインを求めて長蛇の列が ⑤一柳選手を囲んで子どもたちから多くの質問が飛び交いました



## 海の世界で夏を満喫

児童館まつり「海の遊園地」

保健福祉センターはびねすで7月22日、児童館まつり「海の遊園地」が開催されました。

開館10年を迎える町児童館。まちサポ登録ボランティアや、熊本学園大学のボランティアが運営に加わった今年の祭りには、乳幼児から保護者まで130人が参加しました。

参加者たちはフォトスポットで写真を撮ったり、魚のキーホルダーを作ったりしながら、職員手作りの海の世界を楽しんでいました。



児童館職員手作りのおさかなつりとボール転がしを楽しむ参加者

Best Smile  
今月のベスト笑顔

